

4

I am ~. Are you ~? の文 ~要点のまとめ~

1 「わたしは～です。」の文

次の文を、先生のあとについて声に出して読んでみましょう。

I am hungry.

I([アイ]と発音します)は自分のことを指していることばで、日本語の「わたしは」「ぼくは」「おれは」などにあたります。hungry([ハングリィ]と発音します)は「おなかがすいている」という意味です。したがって、この文は「わたしはおなかがすいています。」という意味になります。

それでは、Iとhungryの間にあるam([アム]と発音します)はどのような働きをしているのでしょうか。次の3つの文をくらべてみましょう。

I am hungry .	わたしは	おなかがすいて	います。
I am Kenji .	ぼくは	健二	です。
I am a student .	わたしは	学生	です。

[スチューデントゥ] * 「学生, 生徒」

上の3つの文の意味はそれぞれ異なりますが、同じしくみでできている文です。つまりamは□の部分と○の部分で= (イコール) の関係で結ぶ働きをしているのです。

参考 aの意味

a(「ア」と発音します)は、I「わたしは」と同じようにアルファベット1文字でできている単語です。意味は「ひとりの」や「ひとつの」ですが、日本語ではふつういちいち言いません。上の文で、studentにはaがついていて、hungryやKenjiにはaがついていない理由を考えてみましょう。

2 「わたしは～です。」の文の練習

次の例にならって、下線の部分をあとの①～④のことばにかえて、「わたしは～です。」という意味の文を書く練習をしましょう。

例 I am Kenji. → Hiroshi

I am Hiroshi.

① Yumi

② Mike * 「マイク [男性の名前]」
[マイク]

③ happy * 「うれしい, しあわせな」
[ハピィ]

④ a teacher * 「教師, 先生」
[ティーチャ]

3 「あなたは～ですか。」と質問する文

次の文を、先生のあとについて声に出して読んでみましょう。文の終わりは上がり調子に読みます。

Are you hungry?

you([ユー]と発音します)は話をしている相手のことを指してということばで、日本語の「あなたは」「きみは」などにあたります。文の終わりの？はクエスチョンマークといって、質問の文のときに用います。この文は「あなたはおなかがすいていますか。」と相手に質問する意味になります。

それでは、文のはじめにある are([アー]と発音します)はどのような働きをしているのでしょうか。次の2つの文をくらべてみましょう。

I am hungry .

わたしは おなかがすいて います。

You are hungry .

あなたは おなかがすいて います。

are は □ の部分と ○ の部分を = (イコール) の関係で結ぶ働きをしています。つまり、am と are は同じ働きをする単語なのです(ただし、I are や、You am とすることはできません)。それでは、下の文をさきほどの質問の文とくらべてみましょう。

You are hungry.

あなたはおなかがすいています。

Are you hungry?

あなたはおなかがすいていますか。

質問の文の形がわかりましたか。実際にはあまり言うことはありませんが、「わたしは～ですか。」という質問の文は Am I ~? となります。

参考 イントネーション

単語を読むときにはアクセントに気をつけることが大切でしたが、文を読むときにはアクセントのほかにも、上がり・下がりといったリズムも大切です。これをイントネーションといいます。Are you hungry? のような質問の文は、文の終わりを上がり調子に読みます。

4 「あなたは～ですか。」と質問する文の練習

次の例にならって、「あなたは～ですか。」と相手に質問する文を作りましょう。

例 You are hungry.

Are you hungry?

① You are Ken.

② You are Yumi.

③ You are sad. * 「悲しい」
[サッドゥ]

④ You are a student.

5 「あなたは～ですか。」と質問されたときの答え方

Are you hungry? や Are you a student? と相手からたずねられたときには、次のように答えます。先生
のあとについて声に出して読んでみましょう。

Are you hungry? — Yes, I am. / No, I am not.

Are you a student? — Yes, I am. / No, I am not.

「あなたは～ですか。」とたずねられて、「はい、そうです。」と答える場合は **Yes, I am.** と言います。「い
いえ、そうではありません。」と答える場合は **No, I am not.** と言います。自分のことを言うので **I** を用いる
のです。

参考 短縮形

I am は **I'm** と短く1語にすることもありますが(ただし、**Yes, I am.** の場合は **Yes, I'm.** のようにす
ることはできません)。「'」はアポストロフィといい、2語を1語に短くするときなどに用います。この
1語にした形を短縮形といいます。なお、**I'm** は[アイム]と発音します。

6 答え方の練習

次の例にならって、質問に「はい」と「いいえ」の2通りで答えましょう。

例 Are you hungry?

Yes, I am.

No, I am not.

① Are you Ken?

② Are you happy?

③ Are you a student?

④ Are you a teacher?

注意 Yes や No のあとの , はカンマまたはコンマといいます。文の中の区切りを表すので、Yes や No
のあとは少し間をあけて読むようにしましょう。